

報道関係各位

平成25年 2月21日
株式会社 クロス・マーケティング(東証マザーズ3629)
株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメント

中国中間層、仕事に対する「プロ志向」「役職・給与の上昇志向」が日本より“貪欲”な傾向

エレクトロニクスメーカーの保有率は「SONY」「Panasonic」に差をつけ、「Haier」がトップ

—「中国4大都市・中間層の正体を探る」調査トピックスレポート:
「中国人中間層の仕事・キャリア観」と「エレクトロニクスメーカーの市場浸透状況とブランドイメージ」

株式会社クロス・マーケティング(所在地:東京都中央区、代表取締役社長:五十嵐幹 以下、クロス・マーケティング)と、株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメント(所在地:東京都中央区、代表取締役:桑田瑞松 以下、R&D)は、2012年11月に中国の4都市(北京/上海/広州/成都)で20~49歳のミドル収入層男女(世帯月収:5,000~7,999円)を対象に、共同で調査を実施いたしました。

■調査背景・目的

最近、中国経済の減速・停滞を懸念する声が聞かれますが、今回の調査では、中国という「国」や「産業」単位ではなく、大都市に住む「中国人中間層生活者」に、個人の生活価値観や生活意識、買い物行動などを尋ね、「都市別」「性・年齢別」にその実態を明らかにしました。

※一部の調査内容は、R&Dが毎年10月に東京首都圏で実施している『CORE』調査を基に、日中比較を試みました。

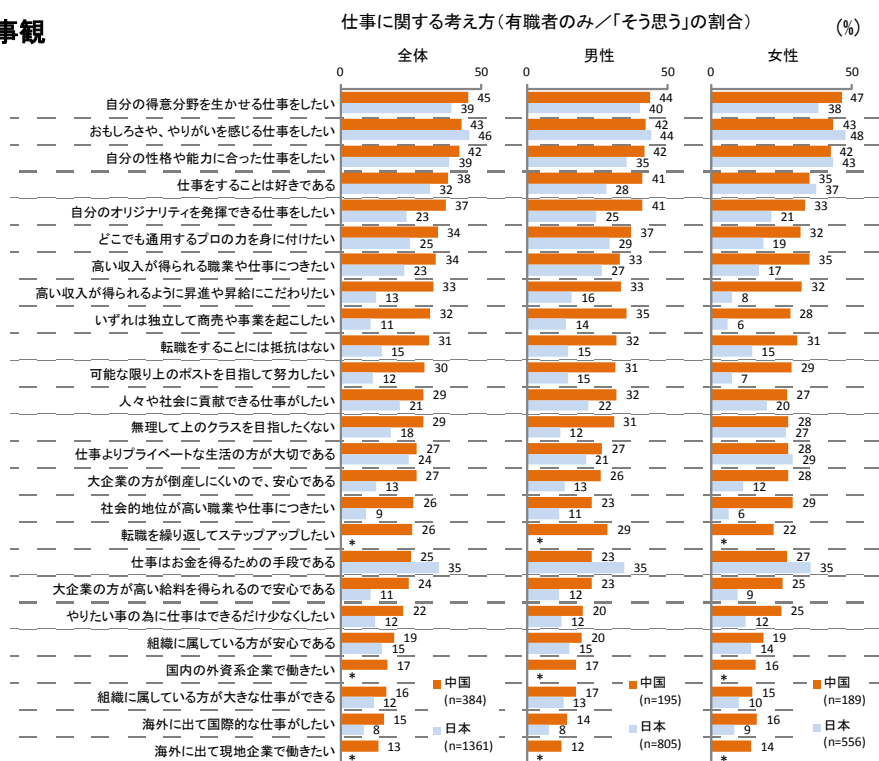
■調査結果

【仕事・キャリア観】

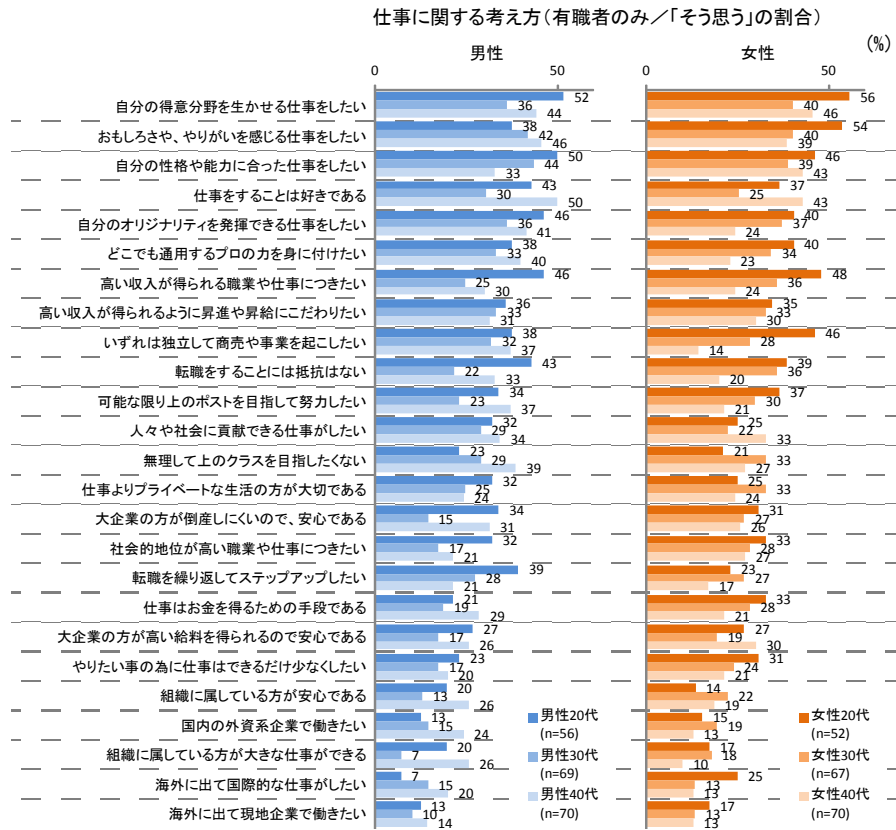
- ✓ 日本と比較して、男女共に「プロ志向」「高い役職・給与への上昇志向」「転職への抵抗感の低さ」が特徴的。とりわけ中国女性の「上昇志向」の強さが際立っている。〈図1〉
- ✓ 性年代別では、20代男性が「転職・ステップアップ志向」が強く、20代女性は「やりがいと独立開業志向」が強い。〈図2〉

◆自主調査レポートの続きはこちら⇒ <http://www.cross-m.co.jp/report/china20130221/>

〈図1〉日本と中国との仕事観の差異



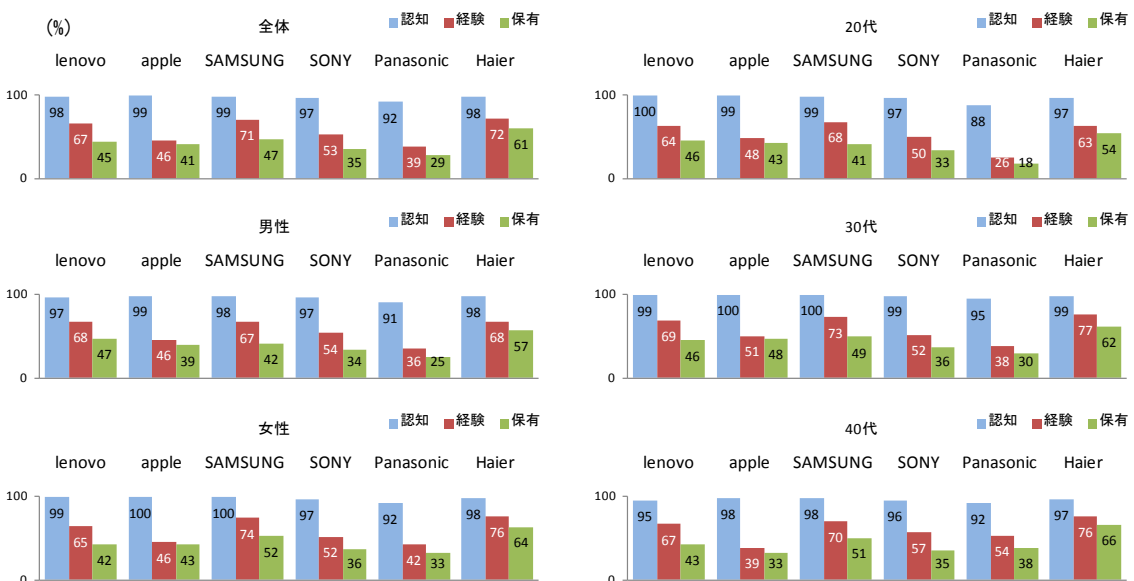
〈図2〉 中国人中間層の性別・年代別の仕事観



【エレクトロニクスメーカーの市場浸透状況とブランドイメージ】

- ✓ 現保有率では「Haier」が性別・年代問わず高く、「信頼できる」「将来性がある」というイメージで、日本のブランド(SONY/Panasonic)に差をつけている。〈図3〉
- ✓ SONYは「安定・信頼」が比較的高いが「将来性が低い」というイメージを持たれており、Panasonicは40代を中心に「センスの良さ」が評価されるものの、「伝統的イメージ」が強く若者には親しみにくい。

〈図3〉 エレクトロニクスメーカーの認知/使用(保有)経験/現保有



■調査概要

調査手法：“街頭リクルートによる1対1の面接調査と自記入調査の併用”実施

調査対象：中国4都市（北京/上海/広州/成都）20～49歳のミドル収入層男女（世帯月収：5,000～7,999円）
各都市約100名

調査期間：2012年11月23（金）～2012年11月25（日）

有効回答サンプル数：421サンプル

※一部の調査内容はR&Dが毎年10月に首都40km圏で留置法で実施している『CORE』調査を基に日中比較した。

クロス・マーケティングとR&Dでは、「中国4大都市・中間層の正体を探る」調査として、三本立てシリーズで順次発表してまいりました。今回は、そのトピックスレポートとなります。

シリーズ①：中国人中間層の価値観・生活者マインド（2013/1/21 プレスリリースご案内済み）

シリーズ②：中国人中間層のライフスタイルと消費意識/態度（2013/1/31 プレスリリースご案内済み）

シリーズ③：ITデバイスの普及・利用状況と買物時に重視する情報源（2013/2/7 プレスリリースご案内済み）

トピックスレポート：「中国人中間層の仕事・キャリア観」と「エレクトロニクスメーカーの市場浸透状況とブランドイメージ」（今回）

■会社概要■

会社名：株式会社クロス・マーケティング（東証マザーズ：3629）

所在地：〒104-0061 東京都中央区銀座8丁目15番2号

代表者：代表取締役社長 五十嵐 幹

資本金：272,330千円

設立：2003年4月1日

URL：<http://www.cross-m.co.jp/>

事業内容：リサーチ事業、ITソリューション事業

会社名：株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメント

所在地：〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町1丁目4番10号

代表者：代表取締役 桑田 瑞松

資本金：30,000千円

設立：1968年1月17日

URL：<http://www.rad.co.jp>

事業内容：マーケティング・リサーチの企画設計、実施及びコンサルテーション
経営・マーケティング活動の評価及びコンサルテーション

■本資料に関するお問い合わせ先■

株式会社クロス・マーケティング 広報担当 大島

TEL: 03-3549-0328

e-mail: pr-cm@cross-m.co.jp

株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメント リサーチ&ソリューション部 野口 / 販促担当 小林

TEL: 03-5642-7711(代表) e-mail: radnews@rad.co.jp

《引用・転載時のクレジット表記のお願い》

本リリースの引用・転載時には、必ず当社クレジットを明記いただけますようお願い申し上げます。

〈例〉「クロス・マーケティングとリサーチ・アンド・ディベロプメントが実施した調査によると・・・」